

【検査士カード記載上の注意事項】

カードの記載、貼付、捺印などをするときには、下記事項をお守り下さい。

下記を守らず、資格更新審査委員会で不備と判定されたカードは、不備の修正のため返却いたします。

① 細胞診専門医の氏名：

- ・担当の細胞診専門医にご署名と印（個人名の入った印）をもらってください。

必ず個人名が入っている印鑑であること

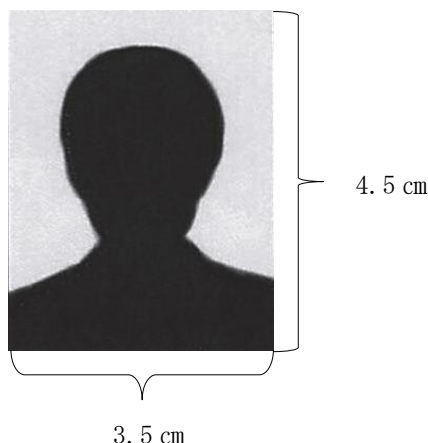
細胞診専門医ゴム印のみや、氏名ではない名称の印、あるいは手書きでの代用などは不可です（下記参考）



- ・担当の細胞診専門医と連絡が取れない、などの特殊な事情の場合、カードを送付される前に、まずは地域連携組織（都道府県）の代表者【旧・都道府県支部長】にご相談ください。

② 写真：本人の証明のための写真ですので、下記事項を厳守ください。

- ・写真は 3.5 cm（横）×4.5 cm（縦）（下図を参照）のサイズをお守りください。写真の周囲に縁取りがある場合は、きれいに切ってから貼ってください。
- ・写真の条件は、上半身も入れ、無背景で、正面・無帽の写真ですので、顔のみが写っている写真やあまりにも顔が小さい写真、街中で映したスナップ写真などで背景が写っている写真、横を向いている写真などは不可です。



- ・カラー印刷やコピーは今後、可といたしますが、写真用の光沢紙に印刷、コピーをしてください。ピンぼけの写真や光沢紙ではない場合は不可です。
- ・セミナー時に単位のハンコを押す時には、原則として検査士カードの写真と本人を見比べ、本人の確認をいたしますが、写真の不備についての詳細なチェックまで行くと待ち時間が大幅に増加するため、不備のチェックは行えない場合があることをご承知おきください。
- ・4年前に貼られた写真が上記の条件を満たしていない場合は、条件に合った写真を1枚同封してお送りください。

- ③ **業務単位の計算期間**：2013年1月～2016年12月までの4年間の単位数をご自身で記入ください。(次回から5年毎の更新になります)
- ④ **業務従事の証明**：上記の単位を所属施設長（あるいは所属長）に証明してもらうため下記内容を記載してもらってください。
- ・所属施設名、役職名、氏名を記載頂き、印（公印も可）をもらってください。
 - ・上記期間中に勤務先の変更があった場合や、非常勤（あるいはフリー、アルバイトなど）で勤務先が多数の場合、別紙（様式自由）にそれぞれの施設名、業務内容・勤務時間などを記載し、新旧両施設あるいは多数の各施設の施設長（あるいは所属長）にそれぞれの施設名、役職名、氏名、印をもらってカードにのり付けしてください。ただし、新しい勤務先（現勤務先）が旧勤務先の業務を保証する場合は、旧勤務先の所属施設長（あるいは所属長）の記載は必要ありません。
- ⑤ **国際細胞検査士の資格をお持ちの方は、送る前に細胞検査士カードをコピーして大切に保管してください。** CT（IAC）更新時に、そのコピーを提出していただきます。

【検査士カード記載例】

印刷済み →

2013 年～2016 年

細胞検査士カード

C.T.(JSC)No. **9999**
 C.T.(IAC)No. **88888**
 ローマ字 **SAIBO TAROU**
 氏名 **細胞 太郎**

施設名 **日本臨床細胞学会**
 施設住所 電話 (03) 5577 - 4680
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-11-1 3F
 自宅住所 電話 (03) 3458 - ××××
 〒105-×××× 東京都港区夕日ヶ丘 3-214

細胞診専門医 No. **9999**
 氏名 **坂本 一郎**

日本臨床細胞学会
J.S.C.C.

写真
3.5×4.5cm、上半身
正面、無帽、無背景
2年以内に撮影されたものに限り

規定の証明
写真を必ず貼
ってください

必ず個人名が入っている捺印を頂いてください
また、専門医の変更があった場合は、**新専門医の署名・捺印も必ず頂いてください**

ご自身で記入・押印
押印忘れに注意！

記入・押印(主催者の指示に従ってください)
※責任者印は専門医の印でも構いません

5) 学会発表・論文発表・その他教育活動に関する単位

年月日	内容(演題名・学会名・雑誌名)	責任者印	主・副	単位数
2013 9.23	細胞診研修会 (第999回 東京検査研究会)	(細胞)		JSC 5 IAC 3

欄が不足の場合は別紙に記載し、添付する。

細胞検査士カードの取扱注意点

- このカードは細胞検査士の4年間の活動を記録し、且つ証明するものである。更新単位が取得できる学会、セミナー、ワークショップ、研究会などに出席する時は必ず持参する。
- 出席を証明する捺印は、当該会場での都度行われ、原則として後日の捺印は行わない。
- 写真3.5×4.5cm大、上半身、正面を添付する。写真は2年以内に撮影されたものに限り。(写真が添付されていない場合は捺印されない)
- 学会発表は年月日、会名、演題名を記入し、論文などは発表誌、号数、頁、論文名を記入する。口演および論文で筆頭者は主、他の場合は副と記入する。発表および論文は臨床細胞学に関するものであれば日本臨床細胞学会に限らない。年号は西暦で記入する。
- 勤務先、住所、姓、細胞診専門医等の変更があれば速やかに学会事務局に届ける。

2013 年～2016 年

C.T.(JSC)No. **9999** ふりがな **さいぼう たらう**
 C.T.(IAC)No. **88888** 氏名 **細胞 太郎**

1) 細胞診業務に関する単位

①	2012 年	25 単位
②	2013 年	25 単位
③	2014 年1月～2014 年9月	常勤
④	2015 年	0 単位 (細胞診業務なし)
単位取得		①～④の合計単位数

常勤 25単位/年 非常勤 5～6日週勤務 25単位/年
 3～4日週勤務 20単位/年
 1～2日週勤務 15単位/年

上記の者は当施設において、上記業務に従事したことを証明する。

所属施設長(あるいは所属長)
株式会社 安心検査所
所長 沖田 宗一

2) 日本臨床細胞学会学術集会出席に関する単位 (25単位)

2013年5月31日6月2日
第54回総会
会長 根本 則道

受付で押印してもらう
2015年春以降廃止

勤務先の変更があった場合、**新旧勤務先両方の施設長(あるいは所属長)の署名・捺印を必ず頂いてください**
 複数個所から署名・捺印を頂く場合は**必ず施設名も記載**願います
 新しい勤務先が旧勤務先の業務を保証する場合は、旧勤務先の署名・捺印は必要ありません
 ※施設名・役職名・氏名記載で個人名印捺印ならばOK。もしくは氏名と会社印捺印でもOKです

3) 細胞検査士セミナー・ワークショップ出席に関する単位 (25単位)

2013年8月24-25日
第65回細胞検査士
教育セミナー(東京)
教育委員長之印

受付で押印してもらう
ワークショップの場合
「講義と実習」は25単位
「講義のみ」は10単位
となります

ご自身で記入
ここには**細胞診業務に関する単位のみを1年ごとにご記入ください**

4) その他の学会出席に関する単位

年月日	学会名	責任者印	単位数
2013 4.23	第1回 東京検査研究会	(本)	JSC 10 IAC 5

↑
 地方会等に参加すると、主催者がこの欄にハンコ押印もしくは、学会名・単位等を印刷した短冊状の紙が配布されます
短冊状の紙の場所はすぐにカードに貼り付けてください

資格更新時に不備があった場合は、資格更新出来なくなる可能性がございますのでご注意ください

【入力単位の具体例】

2013年4月より公益社団法人へ移行いたしました。貴殿が前回更新されたのは公益社団法人に移行する前の特定非営利活動法人（NPO法人）の規則（旧規則）で更新されておりますので、基本的（法律的）には特定非営利活動法人での資格更新に関わる単位が適用されます。しかしながら、規則の説明にありますように、公益社団法人における規則（新規則）を適用した方が有利になる方の場合は、そちらを適用して更新審査業務を行います。

下記に具体例を記載いたしますので、ご参照ください。

なお、地域連携組織（都道府県）とは、旧・都道府県支部のことです。また、地域連携組織とは旧・連合会を指します。

例1（必要単位は、NPOでは180単位、今回は280単位、次回更新時（2021年）は350単位）

NPO規則

名称	クレジット	合計
〇〇病院 2013年～2016年勤務	25単位／年×4年＝100単位	
地域連携組織（都道府県） 2013年～2016年所属	所属の義務（所属無ければ更新不可）	
2013年春期大会	25単位	
2014年細胞検査士教育セミナー	25単位	
2014年地域連携組織 学術集会	15単位	
2015年春期大会	25単位	
		190単位

現規則〈地域連携組織（都道府県）所属あり〉

名称	クレジット	合計
〇〇病院 2013年～2016年勤務	25単位／年×4年＝100単位	
地域連携組織（都道府県） 2013年～2016年所属	25単位／年×4年＝100単位	
2013年春期大会	25単位	
2014年細胞検査士教育セミナー	25単位	
2014年地域連携組織 学術集会	15単位	
2015年春期大会	25単位	
		290単位

現規則〈地域連携組織（都道府県）所属なし〉

名称	クレジット	合計
〇〇病院 2013年～2016年勤務	25単位／年×4年＝100単位	
2013年春期大会	25単位	
2014年細胞検査士教育セミナー	25単位	
2014年地域連携組織学術集会	0単位 ※1	
2015年春期大会	25単位	
		175単位

※1 地域連携組織（都道府県）への所属がない場合、地域連携組織や地域連携組織（都道府県）主催の学術集会・研修会、等の単位は認められません。

例2 2014年12月31日から2015年12月31日まで産休・育児休暇を取得した場合(1年)

(必要単位は、NPO規則：180×3/4=135単位、現規則：280×3/4=210単位)

NPO規則

名称	クレジット	合計
〇〇病院 2013年～2014年12月勤務	25単位/年×2年=50単位	
〇〇病院 2016年1月～12月勤務	25単位/年×1年=25単位	
地域連携組織(都道府県) 2013年～2016年所属	所属の義務 (所属無ければ更新不可)	
2013年春期大会	25単位	
2014年秋期大会	25単位	
2015年細胞検査士教育セミナー	0単位 ※緩和措置中の単位は認められない	

現規則〈地域連携組織(都道府県)所属あり〉

名称	クレジット	合計
〇〇病院 2013年～2014年12月勤務	25単位/年×2年=50単位	
〇〇病院 2016年1月～12月勤務	25単位/年×1年=25単位	
地域連携組織(都道府県) 2013年～2016年所属	25単位/年×4年=100単位	
2013年春期大会	25単位	
2014年秋期大会	25単位	
2015年細胞検査士教育セミナー	25単位 ※2	

現規則〈地域連携組織(都道府県)所属なし〉

名称	クレジット	合計
〇〇病院 2013年～2014年12月勤務	25単位/年×2年=50単位	
〇〇病院 2016年1月～12月勤務	25単位/年×1年=25単位	
2013年春期大会	25単位	
2013年秋期大会	25単位	
2014年地域連携組織学術集会	0単位 ※1	

※2 該当期間中の学会並びに細胞診研修会参加単位は現規則の施行細則では資格更新単位として認められます。

産休・育休による緩和措置は一事例につき最大1年ですが3年まで延長可です。更新書類をご提出いただく際に、勤務先から、産休・育休証明書(休暇期間記載)を更新書類と一緒にご提出ください。なお、妊娠を機にお勤め先をご退職された場合は、母子手帳の出産日が記載されている部分のコピーをご提出ください。

例2の方の場合、地域連携組織(都道府県)への所属があれば新規則の方が有利になりますので、新規則を適用します。